平成２７年度　　事務事業評価シート

章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	I	魅力ある観光地づくり
目標		豊かな温泉に加え、自然、農業、漁業、文化、スポーツなどの地域資源を活用した魅力ある観光地を目指すほか、周辺地域と連携し新しい観光の形を確立させる。

	指標名	単位	基準値 H16	中間値 H21	実績値 H22	実績値 H23	実績値 H24	実績値 H25	実績値 H26	実績値 H27	目標値 H27
指標①	観光客数（年間）	万人	320	302	304	266	284	335	354		332
指標②	宿泊延数（年間）	万人	140	116	116	106	110	121	121		146
指標③	連泊率	%	0.5	0.7	0.7	0.4	0.6	1.0	1		24.7
指標④	外国人観光客宿泊延数	千人	132	177	222	154	211	315	372		325

施策コード	施策の基本的な方向	主要な施策	具体的な内容
1-①	1　ときめきと感動のある観光地づくり	①　地域の資源を活かした観光施設整備	・集客に適した施設となるよう施設・周辺のインフラ(基盤)整備を推進するとともに、観光客の安全確保に努める。
1-②	1　ときめきと感動のある観光地づくり	②　観光客のニーズに即応できる受入体制の充実	・観光客のニーズにあった体験型の観光資源やメニューの創出を図ります。 ・観光スポットの環境整備を行い、受入体制の充実を図ります。 ・観光客のニーズに的確に対応するため、地域観光の魅力を旅行者に紹介する案内業務(コンシェルジュ)の事業化への取組を支援します。
1-③	1　ときめきと感動のある観光地づくり	③　温泉資源の活用	・奥の湯沼、大湯沼の温泉資源を活用し、上登別地区への温泉供給事業を展開するとともに、大湯沼下流を親水施設(天然足湯)としての利用を図る。
2-①	2　心と体を癒す観光のまちづくり	①　広域連携による濃密な情報発信	・ホームページによる観光情報の発信に努めます。 ・外国人観光客向けのパンフレットを作成するなど、外国からの観光客への情報発信に努めます。 ・広域連携による誘客活動や外国人観光客及び修学旅行生の受入体制の整備を推進します。
2-②	2　心と体を癒す観光のまちづくり	②　温かいもてなしの心の醸成	・ホスピタリティ(もてなし)の精神に基づき、観光地「登別温泉」の玄関口である道道2号線沿いの桜並木の維持管理の実施や、観光ボランティアガイドの運営等、観光客をまちぐるみで温かく迎える体制づくりを推進します。 ・観光ボランティア、スパヘルパー、ネイチャーガイドなど、観光客のニーズに対応できる体制づくりを推進します。

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do：事業概要：事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	事業の成果、目標：指標名	単位	H25実績	H26実績	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【単位：千円】：名称		H25決算	H26決算	H27予算	H28予算案	H29予算案	H30予算案	Check：第2期基本計画第3次実施計画期間中(H24～H27)における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など(妥当性、有効性、効率性、成果)	Action：今後の事業の方向性【H28以降】
1	1-①	国立公園内観光施設維持管理事業 31111001	観光経済部	観光振興G	S45	－	ソフト	一般会計	国立公園内にある各観光施設の安全確保や美化清掃を行うことにより、観光客に快適に利用していただくことを目的とする。	H25	観光客	【修繕実施】地獄谷トイレ修繕（継修繕、女子トイレ手洗器不出水修繕、男子トイレミラー釘不良取替修理）、大湯沼トイレ修繕（男子トイレ詰り修繕、ロータンク修繕）、地獄谷木道三途の川橋修繕 【その他事業実績】観光施設に関連する土地（大湯沼駐車場敷地等）の賃借、カルルス温泉駐車場の清掃業務委託、大正地獄等の活動状況調査業務委託、（一財）自然公園財団登別支部への国立公園内清掃活動費補助金の交付を行った。	自然公園法	国立公園内事故報告件数	件	0	0	0	0	0	0	国庫支出金								H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	観光客が快適にかつ安全に利用できる施設として、市が整備した、または契約・協定等により市が管理することとしている施設については、市が主体となって管理するのが相当である。	観光施設の維持管理や景観の美化向上に努め、安心・安全な魅力ある観光地づくりを推進するため、引き続き観光施設の適切な維持管理に努めていく。
																						道支出金													
										H26	上記のとおり	【修繕実施】大湯沼トイレ修繕（継修繕、ドア修繕）、泉源公園法面修繕 【その他事業実績】観光施設に関連する土地（大湯沼駐車場敷地等）の賃借、カルルス温泉駐車場の清掃業務委託、大正地獄等の活動状況調査業務委託、（一財）自然公園財団登別支部への国立公園内清掃活動費補助金の交付を行った。	上記のとおり								地方債								H26	上記のとおり			
														施設維持管理補修件数	件	6	3	10	10	10	10	その他	大湯沼駐車場敷地使用料，行政財産使用料	51	61	63	63	63	63					
										H27	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									一般財源		2,981	2,044	3,481	3,227	3,227	3,227	H27	上記のとおり			
																						合　計		3,032	2,105	3,544	3,290	3,290	3,290					
2	1-①	カルルス温泉サンライバスキー場事業 31111003	観光経済部	観光振興G	S38	－	ソフト	カルルス温泉スキー場事業特会計	観光振興及びウィンタースポーツの振興とカルルス地区の活性化を図ることを目的とする。	H25	スキー場利用者	安心安全なスキー場として、施設の適正な維持管理を行い、スキー場利用の促進に努めた。事業運営については(株)登別ゴルフ場に(平成23年5月1日～平成28年4月30日)業務委託を行った。 【実施事業】カルルス温泉冬まつり、手ぶらスキー・スノーボード体験、ちびっこ集まれスキー・スノーボード初体験、2回目・1日券半額事業、スキー教室等 【50周年事業】早割シーズン券の販売、50番目の購入者半額割引、今からスキー・ボード無料レッスン等	自然公園法、登別市カルルス温泉スキー場条例及び管理規程	輸送人員	人	323,467	294,836	351,250	351,250	351,250	351,250	国庫支出金								H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	・ウィンタースポーツの振興と冬季観光客の拡大及びカルルス地区の活性化に資することから、今後も事業を継続することが相当である。 ・事業運営については平成28年4月をもって5年間の業務委託が終了となるが、引き続き業務委託先事業者を選定し、施設の適正な管理を行い、施設利用者の拡大を図る。	修学旅行生などの観光客の誘客を促進するとともに、市民のウィンタースポーツの普及などに努め、スキー場の安定経営を目指していく。
																						道支出金													
										H26	上記のとおり	安心安全なスキー場として、施設の適正な維持管理を行い、スキー場利用の促進に努めた。事業運営については(株)登別ゴルフ場に（平成23年5月1日～平成28年4月30日）業務委託を行った。 【実施事業】カルルス温泉冬まつり、手ぶらスキー・スノーボード体験、ちびっこ集まれスキー・スノーボード初体験、2回目・1日券半額事業、スキー教室等 また、平成26年度については手ぶらスキー・スノーボード体験の対象を限振11市町とした。	上記のとおり								地方債								H26	上記のとおり			
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他	スキー場運営収入	89,626	84,980	81,427	88,668	88,668	88,668					
										H27	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									一般財源		18,815	25,440	25,073	24,332	24,332	24,332	H27	上記のとおり			
																						合　計		108,441	110,420	106,500	113,000	113,000	113,000					
3	2-②	地獄谷木道改修事業 31111021	観光経済部	観光振興G	H26	H29	ハード	一般会計	多くの観光客が利用している地獄谷の木道を改修、観光客に安心・安全に利用していただくことを目的とする。	H25				観光客入込客数	千人	3,347	3,536	4,400	4,400	4,400	4,400	国庫支出金				6,697				H25以前		維持	・平成27年度に事業終了予定だったが、労務単価等の上昇により地獄谷の木道を全面改修できなかったことから、継続して実施する必要がある。 ・観光客が快適にかつ安全に利用できる施設として、市が整備した施設については、市が主体となって必要な維持更新を行うのが相当である。	観光施設の修繕を行い安心・安全な魅力ある観光地づくりを推進するため、引き続き観光施設の適切な維持更新に努めていく。
																						道支出金					8,500								
										H26	地獄谷遊歩道	地獄谷の木道は平成2年に市が設置後、これまで自然公園財団の協力を得ながら小規模修繕を行い維持管理を行ってきたが、近年、硫黄や風雪雨による劣化が進行していることから、鉄泉池遊歩道一部の改修を実施。 【実施事業】 ・腐食が進んだ床板及び手摺等の取替									地方債				4,700	6,300			H26	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。			
														宿泊客延べ数	千人	1,212	1,214	1,600	1,600	1,600	1,600	その他	観光開発基金積立金繰入金		4,050										
										H27	上記のとおり	上記のとおり										一般財源				1,998	2,200	2,000		H27	上記のとおり			
																						合　計		0	4,050	13,395	17,000	2,000	0					

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do 事業概要 事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	事業の成果、目標 指標名	単位	H25実績	H26実績	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】 名称	H25決算	H26決算	H27予算	H28予算案	H29予算案	H30予算案	Check 第2期基本計画第3次実施計画期間中(H24～H27)における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など （妥当性、有効性、効率性、成果）	Action 今後の事業の方向性 【H28以降】
4	1-②	（一社）登別観光協会運営事業助成金 31112001	観光経済部	観光振興G	―	―	ソフト	一般会計	観光振興に重要な役割を担う登別観光協会の運営を支援することにより、新しい時代のニーズに対応した観光地づくりを推進することを目的とする。	H25	社団法人登別観光協会	登別観光協会に対して、運営管理に係る経費の一部を補助した。 【登別観光協会の活動内容】 ・観光協会運営管理業務 ・会報及び協会ニュースの発行 ・街傘の設置事業		観光客入込客数	千人	3,347	3,536	4,400	4,400	4,400	4,400	国庫支出金							H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	改善	本市の基幹産業である観光の振興にあたっては、市と登別観光協会が協力し推進する必要があるため、今後もその運営を支援することが相当であり、補助内容の見直しを行うことで、登別観光協会が実施する事業の更なる活性化を図る。	魅力ある観光地づくりを推進するため、引き続き、登別観光協会の活動を支援していく。
																						道支出金												
										H26	一般社団法人登別観光協会	上記のとおり										地方債							H26	上記のとおり			
																						その他												
										H27	上記のとおり	上記のとおり		宿泊客延べ数	千人	1,212	1,214	1,600	1,600	1,600	1,600	一般財源		10,600	10,600	10,600	20,600	20,600	20,600	H27	上記のとおり			
																						合 計		10,600	10,600	10,600	20,600	20,600	20,600					
5	1-②	フラワーファンタジーロード事業補助金 31112009	観光経済部	観光振興G	H23	―	ソフト	一般会計	主要道路の緑化風景を創出することにより、花観光を推進し、誘客に繋げることを目的とする。	H25	登別市観光ホスピタリティ推進協議会の活動内容	登別市観光ホスピタリティ推進協議会が行うフラワーファンタジーロード事業に対して、その要する経費の一部を補助した。 【事業内容】 ・桜坂駐車公園及び中央分離帯の草刈り及び草取り ・中央分離帯及び植樹帯への一年草及び多年草の植栽 ・登別地獄まつり第50回を記念した桜坂駐車公園への「おもてなし花壇」の造成と植栽	登別市フラワーファンタジーロード事業補助金交付要綱	観光客入込客数	千人	3,347	3,536	4,400	4,400	4,400	4,400	国庫支出金							H25以前	平成２５年度は登別地獄まつり第５０回記念事業として、協議会が実施する桜坂駐車公園への植栽事業に対する補助分を増額とした。	維持	事業の実施により、観光地としてのイメージ向上に資することから、今後も事業を継続することが相当である。	登別温泉への主要道路の景観を高め、観光地としてのイメージ向上を図るため、引き続き、登別観光ホスピタリティ推進協議会が行うフラワーファンタジーロード事業を支援していく。
																						道支出金												
										H26	上記のとおり	上記のとおり 【事業内容】 ・桜坂駐車公園及び中央分離帯の草刈り及び草取り ・中央分離帯及び植樹帯への一年草及び多年草の植栽										地方債							H26	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。			
																						その他												
										H27	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	宿泊客延べ数	千人	1,212	1,214	1,600	1,600	1,600	1,600	一般財源		950	650	650	650	650	650	H27	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。			
																						合 計		950	650	650	650	650	650					
6	1-②	インフォメーションプラザ事業補助金 31112011	観光経済部	観光振興G	H24	―	ソフト	一般会計	外国人を含む登別市を訪れる観光客への観光案内や、さまざまな観光情報の発信を通じて、観光客の満足度を向上させることで、魅力ある観光地づくりを推進することを目的とする。	H25	社団法人登別観光協会	外国人を含む登別市を訪れる観光客に安心して楽しく旅行してもらうため、登別観光協会が行うインフォメーションプラザ事業に対して、その要する経費の一部を補助した。 【事業内容】 ・日本人及び外国人観光客への観光案内業務（窓口及び街頭） ・観光協会ホームページ及びブログの更新業務 ・観光イベントや誘客事業等における通訳業務 ・観光パンフレットや飲食店メニュー等の翻訳業務	インフォメーションプラザ事業補助金交付要綱	インフォメーションプラザ利用者数	人	16,603	19,107	20,000	20,000	20,000	20,000	国庫支出金							H25以前	平成25年度はインフォメーションプラザについて、当初３名で運営していたが２名体制により運営を行うこととして、関係団体と調整を行った。	維持	事業の実施により、外国人観光客へのサービス向上に資することから、今後も事業を継続することが相当である。	魅力ある観光地づくりを推進するため、引き続き、登別観光協会が行うインフォメーションプラザ事業を支援していく。
																						道支出金												
										H26	一般社団法人登別観光協会	上記のとおり 【事業内容】 ・日本人及び外国人観光客への観光案内業務（窓口及び街頭） ・観光協会ホームページ及びブログの更新業務 ・観光イベントや誘客事業等における通訳業務 ・観光パンフレットや飲食店メニュー等の翻訳業務 ・市内全域に係る観光情報の収集	上記のとおり									地方債							H26	上記のとおり			
														外国人観光客宿泊延べ数	千人	315	373	500	500	500	500	その他												
										H27	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									一般財源		3,180	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	H27	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。			
																						合 計		3,180	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000					
7	1-②	観光地域づくりプラットフォーム構築支援事業 31112014	観光経済部	観光振興G	H25	H26	ソフト	一般会計	市内全域から観光と結びつく地域資源の掘り起こしを進め、これを観光客に紹介・提供することで市内の回遊性や滞留性を高めると共に観光客の満足度やリピート率を高めることを目的とする。	H25	社団法人登別観光協会	旅行商品の造成・販売等を行う「観光地域づくりプラットフォーム」の構築をはじめ、滞在観光プログラム等の開発や販売、旅行会社への情報提供を登別観光協会に委託した。 【委託内容】観光地域づくりプラットフォームの実施体制の構築、観光コンテンツとなり得る地域資源の情報収集及び調査・研究、地域資源を結びつけた滞在観光プログラム等の旅行商品の企画・開発、観光客及び旅行事業者への滞在観光プログラム等の情報提供及び販売等		観光客入込客数	千人	3,347	3,536					国庫支出金							H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	終了	本事業は平成25年度から２ヶ年に渡り実施してきたが、今後は委託先である一般社団法人登別観光協会が独自事業として実施することになったことから、平成２６年度をもって本事業を終了する。	
																						道支出金	緊急雇用創出推進事業補助金	6,591										
										H26	一般社団法人登別観光協会	市内の観光資源を掘り起し、観光客の市内での回遊性や滞留性を高めるため、事業を実施した。 【事業内容】 ・観光と結びつく観光資源の情報収集及び調査、研究 ・地域資源を提供する事業者との連携、調整・観光プログラム等の企画、開発・観光客及び旅行業者等への観光プログラム等の提供、販売・販売手数料等の収入を活用した広告宣伝等の実施										地方債							H26	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。			
																						その他												
										H27				売上実績	千円	301	6,733					一般財源			3,625					H27				
																						合 計		6,591	3,625	0	0	0	0					
8	1-②	登別の観光を担う人材育成事業(緊急雇用創出推進事業・地域人づくり事業) 31112015	観光経済部	観光振興G	H26	H26			市内の旅行代理店において、観光業に興味を持つ失業者を雇用し、魅力ある観光地づくりに向けた取組を企画立案、展開することができる人材を育成することを目的とする。	H25				雇用人数	人		3					国庫支出金							H25以前		終了	多様化する観光客のニーズに対応するため、新たな観光資源の発掘や魅力ある観光地づくり向けた企画立案、展開することができる人材を育成するという事業目標について、一定の成果を上げることができたので平成２６年度をもって事業を終了する。	
																						道支出金	緊急雇用創出推進事業補助金		5,589									
										H26	高砂コンダックス株式会社	旅行代理店での観光市場の動向把握や旅行商品の造成に従事すると共に、外部専門家を招いた研修会を実施した。 【事業内容】 ・特産品PR、接客業務　・市内旅行代理店における観光関連業務　・WEBデザイン、管理業務 ・外部専門家を招いたの研修会の実施										地方債							H26	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。			
														雇用延日数	日		509					その他												
										H27												一般財源								H27				
																						合 計		0	5,589	0	0	0	0					

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do 事業概要 事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	事業の成果、目標 指標名	単位	H25実績	H26実績	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】 名称	H25決算	H26決算	H27予算	H28予算案	H29予算案	H30予算案	Check 第2期基本計画第3次実施計画期間中(H24～H27)における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など （妥当性、有効性、効率性、成果）	Action 今後の事業の方向性 【H28以降】
9	1-③	温泉供給施設調査経費 31113003	観光経済部	観光振興G	H26	H26	ソフト	一般会計	奥の湯の温泉を上登別地区に供給するポンプの稼働に係る電気使用量が著しく増加したことから、その原因を究明し、今後の温泉供給施設の課題を抽出することを目的とする。	H25				年間電機使用量	ｋＷｈ		194,762					国庫支出金							H25以前		平成26年度繰越事業。平成27年度をもって事業終了。 温泉供給施設の総合的な調査を行い、電気使用量の増加原因が判明したことから、事業を終了する。	終了		
																						道支出金												
										H26	株式会社日水コン北海道支所	機械・電気設備の課題抽出 管路施設の課題抽出 ・現地調査・資料収集 ・施設台帳作成 ・現況施設診断 ・更新計画の検討 ・報告書作成										地方債							H26	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。			
														温泉供給件数	件		28					その他												
										H27												一般財源			4,500				H27				
																						合 計	0	0	4,500	0	0	0					
10	2-①	登別観光振興特別対策事業補助金 31121001	観光経済部	観光振興G	H6	―	ソフト	一般会計	登別観光協会が行う誘客宣伝事業等を支援することにより、市の基幹産業である観光産業の振興を図ることを目的とする。	H25	社団法人登別観光協会	登別観光協会が行う誘客宣伝事業等に対して、その要する経費の一部を補助した。 【誘客宣伝事業】 国内・海外向け観光誘客宣伝、広域観光対策の推進・協同宣伝、パンフレット等の作成、ホームページ等の管理 【まつりイベント事業】 物別イベント「亀火が誘う地獄の谷」、第50回登別地獄まつり、第45回登別温泉湯まつり等 【環境整備事業】 バイパス及び泉源公園等美観形成の推進、イルミネーション、ライトアップ等		観光客入込客数	千人	3,347	3,536	4,400	4,400	4,400	4,400	国庫支出金							H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	本市の基幹産業である観光の振興にあたっては、市と登別観光協会が協力し推進する必要があるため、今後もその運営を支援することが相当であり、補助内容の見直しを行うことで、登別観光協会が実施する事業の更なる活性化を図る。	改善	魅力ある観光地づくりを推進するため、引き続き、登別観光協会の活動を支援していく。
																						道支出金												
										H26	一般社団法人登別観光協会	上記のとおり										地方債							H26	上記のとおり			
														宿泊客延べ数	千人	1,212	1,214	1,600	1,600	1,600	1,600	その他												
										H27	上記のとおり	上記のとおり										一般財源		41,900	41,900	41,900	44,852	44,852	44,852	H27	上記のとおり			
																						合 計	41,900	41,900	41,900	44,852	44,852	44,852					
11	2-①	登別市・白老町観光連絡協議会負担金 31121002	観光経済部	観光振興G	―	―	ソフト	一般会計	登別市・白老町観光連絡協議会の活動経費の一部を負担することにより、登別市並びに白老町の個性を生かした多様な観光地づくりを推進することを目的とする。	H25	登別市・白老町観光連絡協議会	登別市並びに白老町の観光に関連する産業の振興と誘客促進に取り組む同協議会の経費の一部を負担した。 【登別市・白老町観光連絡協議会の主な事業】 ・四国・中国・九州地方修学旅行プロモーション ・神奈川県海老名市修学旅行プロモーション ・東北・北関東等誘客事業 ・大通ビッセ観光プロモーション事業		登別市・白老町観光入込客数	千人	登別市 3,347 白老町 1,734	登別市 3,536 白老町 1,792	登別市 4,400 白老町	登別市 4,400 白老町	登別市 4,400 白老町	登別市 4,400 白老町	国庫支出金							H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	事業の実施により、登別市並びに白老町の誘客促進に資することから、今後も事業を継続することが相当である。	維持	事業の継続を図り、両市町の個性を活かした誘客活動を展開することで、観光振興を図っていく。
																						道支出金												
										H26	上記のとおり	上記のとおり 【登別市・白老町観光連絡協議会の主な事業】 ・四国・中国・九州地方修学旅行プロモーション ・中部地方教育旅行誘客事業 ・登別・白老まちめぐり広域連携事業 ・大通ビッセ観光プロモーション事業 ・東北３県エージェント招聘事業 ・東京都庁観光ＰＲ事業										地方債							H26	上記のとおり			
														登別市・白老町宿泊客延数	千人	登別市 1,212 白老町 80	登別市 1,214 白老町 81	登別市 1,600 白老町	登別市 1,600 白老町	登別市 1,600 白老町	登別市 1,600 白老町	その他												
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施中 【登別市・白老町観光連絡協議会の主な事業】 ・四国・中国・九州地方修学旅行プロモーション ・中部地方教育旅行誘客事業 ・東京都庁観光ＰＲ事業 ・ラッピングトラック事業 ・VJ地方連携事業										一般財源		1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	H27	上記のとおり			
																						合 計	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500					
12	2-①	観光客誘致促進事業 31121003	観光経済部	観光振興G	S45	―	ソフト	一般会計	観光ＰＲに必要なツールの整備や誘客事業の参加を通して、観光客入込の増加を図ることを目的とする。	H25	観光客等	各種観光PRイベント等への参加や観光パンフレット・ポスターの作成・配布など、誘客に資する事業に取り組んだ。 【事業実績】道内、道外における観光宣伝（観光ＰＲイベント等への参加、各種行事等における特産品（記念品）の提供、新聞広告掲載）、各種観光パンフレットの作成（湯の国登別、散策マップ）、海外誘客（リムセツーリズム負担金、中国珠江デルタプロモーション負担金、インドネシア旅行会社招請事業負担金）		観光客入込客数	千人	3,347	3,536	4,400	4,400	4,400	4,400	国庫支出金							H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	事業の実施により当市の誘客促進に資することから、今後も事業を継続することが相当である。	維持	事業の継続を図り、誘客を促進することで、地域経済の活性化を図っていく。
																						道支出金												
										H26	上記のとおり	観光PR関連行事への参加や各種パンフレット・ポスター等刊行物の作成・配布など、誘客に資する事業に取り組んだ。 【事業実績】観光PRイベント等への参加、各種行事等における特産品等の提供、新聞広告掲載、登別市PRキャラクターを活用した誘客宣伝、観光パンフレット等作成（「湯の国登別」、散策マップ、登別観光大使名刺）										地方債							H26	上記のとおり			
														宿泊客延べ数	千人	1,212	1,214	1,600	1,600	1,600	1,600	その他												
										H27	上記のとおり	観光PRイベント、北海道新幹線開業関連行事への参加や観光パンフレット・ポスターの作成・配布など、誘客に資する事業に取り組んだ。 【事業実績】道内、道外における観光宣伝（観光ＰＲイベント等への参加、各種行事等における特産品（記念品）の提供、新聞広告掲載）、各種観光パンフレットの作成（湯の国登別、散策マップ）、VJ地方連携事業（札幌市、函館市との連携事業）、台湾トップセールス、リムセツーリズム負担金。										一般財源		5,441	3,925	9,133	1,679	1,679	1,679	H27	上記のとおり			
																						合 計	5,441	3,925	9,133	1,679	1,679	1,679					
13	2-②	北海道新幹線×nittan地域戦略会議経費 31121011	観光経済部	観光振興G	H26	―	ソフト	一般会計	北海道新幹線の開業を契機として胆振日高地域の交流人口を増加させ、地域経済の活性化を図ることを目的とする。	H25				観光客入込客数	千人	3,347	3,536	4,400	4,400	4,400	4,400	国庫支出金	地域住民生活等緊急支援のための交付金			2,500				H25以前		事業の実施により、広域的なＰＲの促進、地域間連携の強化、交流人口の拡大に資することから、今後も事業を継続することが相当である。	維持	北海道新幹線開業以降、平成28年度以降については事業規模等について充分に検討を行う。
																						道支出金												
										H26	市民、観光客等	胆振日高の地域資源や魅力を道内外に発信し、知名度の向上や交流人口の増加を図るため、北海道新幹線×nittan地域戦略会議に対して負担金を支出するとともに、当会議が実施する各種事業等に積極的に参加した。 ・PR動画の作成、・18バージョンポスターの作成、・モニターツアーの実施、・各イベントへの参加										地方債							H26	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。			
														宿泊客延べ数	千人	1,212	1,214	1,600	1,600	1,600	1,600	その他												
										H27	上記のとおり	当年度の北海道新幹線開業に向けて、知名度の向上や交流人口の増加を図るため、北海道新幹線×nittan地域戦略会議に対して負担金を支出するとともに、当会議が実施する各種事業等に積極的に参加した。 ・nittan Dictionaryの増刷、webの更新、媒体への掲載（北海道じゃらん）、函館発エージェント招聘モニターツアー、噴火湾横断航路検証調査事業										一般財源			500	4,000	3,500	3,500	3,500	H27	上記のとおり			
																						合 計	0	500	6,500	3,500	3,500	3,500					

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do																						Check				Action
									事業概要					事業の成果、目標								各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】										第2期基本計画第3次実施計画期間中(H24～H27)における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	今後の事業の方向性【H28以降】
									事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	指標名	単位	H25 実績	H26 実績	H27 目標	H28 目標	H29 目標	H30 目標	名称		H25 決算	H26 決算	H27 予算	H28 予算案	H29 予算案	H30 予算案						
14	2-②	観光ホスピタリティ推進事業補助金	観光経済部	観光振興G	H元	ー	ソフト	一般会計	登別市観光ホスピタリティ推進協議会が行う事業を支援することにより、地域ぐるみで観光客をもてなす魅力ある観光地づくりの推進を図ることを目的とする。	H25	登別市観光ホスピタリティ推進協議会	登別市観光ホスピタリティ推進協議会が行う観光ボランティアガイド活動などの観光ホスピタリティ事業等に対して、その要する経費の一部を補助した。 【登別市観光ホスピタリティ推進協議会の実施事業】 自然観察事業（橘湖散策会・植物観察会）、観光ボランティア支援事業（観光ボランティアガイド活動費等）、登別地獄まつり第50回を記念した「我が街再発見観光市民講座」の実施		ガイド実績（総案内人数）	人	3,825	3,309	4,800	4,800	4,800	4,800	国庫支出金								H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	事業の実施により、当市の観光ホスピタリティ向上に資することから、今後も事業を継続することが相当である。	登別を訪れる観光客を温かく迎えるホスピタリティの向上を図るため、引き続き、登別市観光ホスピタリティ推進協議会の活動を支援していく。
																						道支出金													
										H26	上記のとおり	上記のとおり 【登別市観光ホスピタリティ推進協議会の実施事業】 自然観察事業（地獄谷散策及び観光施設見学会・橘湖散策会）、観光ボランティア支援事業（観光ボランティアガイド活動費等）										地方債									H26	上記のとおり			
														観光客入込客数	千人	3,347	3,536	4,400	4,400	4,400	4,400	その他													
										H27	上記のとおり	上記のとおり										一般財源		1,500	900	900	900	900	900		H27	上記のとおり			
		31122001																				合 計		1,500	900	900	900	900	900						
15	2-②	「市民が育む登別観光」事業	観光経済部	観光振興G	H26		ソフト	一般会計	市民に登別地獄まつり鬼踊りへの参加や日帰り入浴を促すことにより、「観光都市のぼりべつ」の一員として意識や一体感を高めることを目的とする。	H25				鬼踊り参加者数	人		394	300	300	300	300	国庫支出金									H25以前		改善	・事業実施により、登別観光に対する市民意識醸成に資することから、事業を継続することは相当である。 ・登別地獄まつり「鬼踊り」参加促進事業では、参加者に対する日帰り入浴などの利用について連合町内会および登別観光協会と協議し、検討を行い継続する。	平成28年度以降の事業の継続及び事業内容等については、連合町内会・登別観光協会と協議し検討を行う。
																						道支出金													
										H26	市民	第51回登別地獄まつり鬼踊りの市民参加を促進するため、事業に取り組んだ。 【事業実績】 ・登別地獄まつり「鬼踊り」参加促進事業 各町内会で登別地獄まつり鬼踊りに参加した市民に日帰り 入浴券1,000円分を交付。 ・登別市内温泉ホテル、旅館の利用促進事業 各町内会行事において、登別市内の温泉ホテル・旅館を											地方債									H26	より多くの市民が参加できるよう、町内会単位での踊りへの参加に限らず、他団体として参加する場合についても、町内会員として申込み頂ければ、日帰り入浴券の交付対象とすることとした。			
														登別市内温泉ホテル・旅館の利用促進事業	件		24	30	30	30	30	その他													
										H27	上記のとおり	上記のとおり										一般財源			1,383	2,225	2,225	2,225	2,225		H27	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。			
		31122007																				合 計		0	1,383	2,225	2,225	2,225	2,225						